

事業継続マネジメント（BCM）基本方針

1. 事業継続マネジメント（BCM）の目的

DICグループは、大規模地震・水害等の自然災害、工場における爆発・火災等の事故、インフルエンザの大流行・企業不祥事等の、事業継続に支障を来す様々なリスクに備え、人命尊重を第一に、事業を早急に復旧し、顧客へ迅速な対応を行うために、BCMシステムを構築しステークホルダーの要求に応えてまいります。

- ① 従業員、協力会社、地域住民などの人命の安全確保に最大限努めます。
- ② 被災住民の救助・避難、被災地の復興支援により、地域社会に貢献します。
- ③ 主要製品の供給継続、または出来る限り速やかな供給再開により、顧客への製品供給責任を果たします。
- ④ 事業を可能な限り継続し、経営への影響を最小限に留めることにより、株主・債権者・従業員の期待に応えます。

2. BCMの適用範囲

DICグループは、事業継続に支障をきたすあらゆるリスクをBCMの想定対象とし、これらのリスクを、発生する可能性、経営に与える影響などから総合的に緊急度を評価し、緊急度の高いものから順に対策を講じます。

3. BCMの構成

DICグループは本方針に基づき、社内の規程・規則類、事業継続計画を具体的に示すマニュアル等により、BCMシステムを構築します。

4. BCMの効果的運用体制の確立

DICグループは、本方針に基づき整備する規程・規則・マニュアル並びに関連する法令・社会規範の遵守・徹底を図るための教育・訓練を、定期的実施します。また、教育・訓練の実施状況およびBCMの整備状況を確認し、改善策を検討することにより、BCMの有効性を高めるための適切な施策を実施します。